

岐阜工業高等専門学校

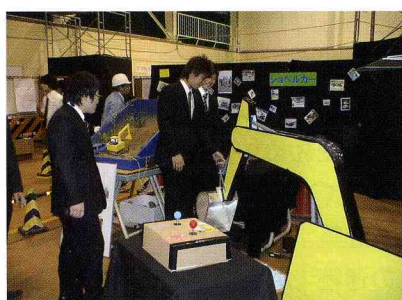
第15号(平成20年12月19日発行)

編集：教育後援会事務局

教育後援会通信「ちから」

高専祭各学科専門展

—教育後援会も援助しています—



機械工学科



開会式



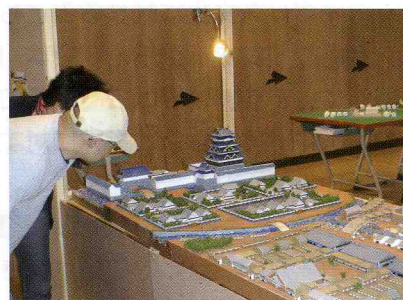
電気情報工学科



電子制御工学科



環境都市工学科



建築学科

挨拶

—高専祭で感動—

教育後援会副会長 水谷 哲



本年度より教育後援会の副会長に選任されました水谷でございます。微力ではありますが、精一杯の活動を行っていく所存です。よろしくお願い申し上げます。

さて、皆様もご承知の通り、今年も10月末に『高専祭』が開催されました。この『高専祭』を毎年楽しみにしておられる保護者の方々はたくさんおみえになります。私ども家族も息子の元気な姿を見に行くというよりも、『高専祭』の活気ある雰囲気が好きで毎年参加している次第です。

私が高専祭でまず訪れるのは、4年の学生がプレゼンする専門店です。各学科の工夫と学生たちのエネルギーが集結した『これぞ岐阜高専生の底力!』だと思わせる団結力と熱意溢れる内容にはいつも感動させられます。また、例年、多種多様に展開している模擬店も見逃せません。ここでは、3年生が1・2年生を指導しながら一生懸命声を出し、自分たちで作った商品を買ってもらおうとする姿がとても微笑ましく感じられ、つい財布の紐が緩んでしまう、というのは私だけではないと思います。

このような家族的な雰囲気、そして幾日も夜遅くまで準備を行い、全員で大きな事をやり遂げようとする団結力と実行力、そこから得られる多くの達成感等々、岐阜高専の校風の中には普通高校では味わえない貴重な経験が数多くあることに、今更ながら感謝しないではいられません。

教育後援会は、保護者皆様のご協力をいただきながら学校と一体となり、学生たちを見守っていきたいと思います。学生全員が高専生としての5年間の学生生活を通し、勉学と人間形成に大変有意義な経験を経て、実践的創造的技術者として、我々が母校の卒業生として誇りを持って社会に旅立てるように、皆様には、今後ともご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

海外インターンシップ報告

イギリスでの実習を通じて

建設工学専攻 1 年 伊 藤 昌 博

2008年夏、海外インターンシップとしてイギリスへ行ってきました。3週間の実習を受け入れていただいたのは、イングランド北東部、ダラムにあるTYK Limitedという主として耐火物を製造する工場です。TYK Limitedで、僕たちは工場で製品の製造を行いました。

工場内のスタッフのうち、4名の日本人社員の方々以外はすべて現地英国のスタッフで工場を回しているため、作業の説明は英語で受けました。内容が理解できないこともしばしばありましたが、彼らはとても楽しくて、親切な人ばかりで、わかるまで丁寧に教えてくれました。休憩時間には、彼女はいるのか、好きな音楽やスポーツは何だと積極的に話しかけてくれ、僕も必死に応答しました。この時、学問でしかなかった英語がコミュニケーションツールとして実際に使える、伝わることに感動しました。

週末、研修後は各地を回り、観光を楽しみました。僕たちは二人とも建築学科出身なので、イギリスの歴史的な町並みやゴシック建築を多数訪問することができ、感動の連続でした。また、マンチェスターでのプレミアリーグ観戦、リヴァプールのビートルズ博物館、ロンドンの大英博物館など、多くのイギリス文化に触れることもできました。

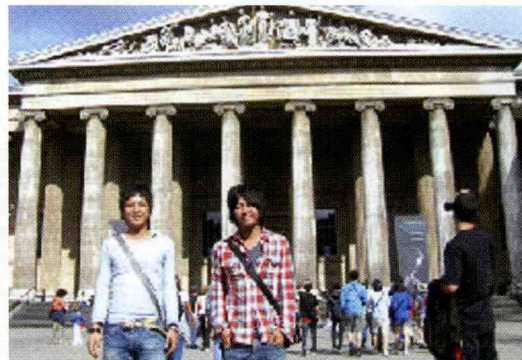
今回のインターンシップでは、企業体験ということはもちろん、それ以上の貴重な体験ができたと感じています。世界は広く、そこには様々な生き方をしている人たちがいる。グローバル化が社会に広がっている今日に、世界に対する視野を広げることができたことは自分にとって大きな財産になると思います。

また、右も左もわからない、言葉もままならない異国の地で、辞書と地図を片手に悪戦苦闘しながらも一ヶ月間生活したことは大きな自信になりましたし、何事にも挑戦していくことの大切さを改めて認識できました。

最後に、この研修を設けていただいた先生方、株式会社TYKの方々、応援してくれた家族と友達に心から感謝します。



工場長のデイビーと



柴田君と大英博物館の前で

人生に活かす

建設工学専攻1年 柴田一成

今回、海外インターンシップを希望した理由は、ただ単に「海外に行きたかった」でした。今まで日本を出たことのなかった私には、学校の授業で海外に行け、さらに現地の仕事場を見学・体験できるというのは大変大きなチャンスだと思えました。魅力的ですらありました。

学校が夏季休業になるとともに日本を発ち、イギリスのダラムという町を目指しました。今回研修でお世話になったTYK LIMITEDという会社は耐火物の製造を行っており、私は工場内で製品の製造・加工・梱包を担当しました。作業内容としては力仕事が多く体が慣れるまでは辛かったのですが、単純作業で難しいことはなかったのですぐに覚えられました。しかし、一番の問題は工場の人々とのコミュニケーションでした。会社には4名の日本人のスタッフの方々がいらっしゃったが、工場内では現地の人々ばかりで、もちろん日本語など通じるわけもなく会話は全て英語でした。しかも海外研修に来た伊藤君とは別々の工場で働くことになり、コミュニケーションは全て自分一人の力でこなしていかなければなりませんでした。作業の指示を一回で理解できるはずもなく、喋ろうにも単語ばかりで文も作れず、ジェスチャーまかせの体当たりでした。それでも彼らは、私がちゃんと理解できるまでゆっくりと話してくれ、私のどうしようもない会話も最後までしっかりと聞いてくれました。本当に親切な人々ばかりでした。しかも、私達よりも年上で、中には30代後半の人もいたのにも拘わらず皆、少年のようにやんちゃで、陽気で面白くて、本当にここは仕事場なのだろうかと思ってしまうくらい楽しかったです。そうやって共に作業をしていくうちに、彼らの会話も雰囲気ではあるが理解できるようになり、対応もできるようになりました。日本でただ漠然と学んできた英語を、実際に生活の中で使用していけることが本当に楽しかったです。日本人のスタッフの方々にも大変親切にして頂き、とても充実したイギリス研修となりました。

研修中の週末や研修後の8日間はイギリスの各都市に観光に行きました。昔ながらの装飾が施された大聖堂・城、自由で奇抜な近代建築物には大変驚かされました。しかしながら、それ以上に驚かされたのは広大な平原でした。小麦畑の向こうの地平線に夕日が沈む様は言葉にならないほど素晴らしかったです。

今回この海外インターンシップ、大変貴重な体験ができました。学生の内にこのような経験ができて本当によかったです。これを今後の人生に活かしていきます。



イギリス観光（トラファルガー・スクウェア）



工場スタッフと

教育後援会行事予定

- 4月5日(日) 教育後援会説明会(第一体育館)入学式後
 19日(日) 教育後援会役員会 10時30分～13時(平成20年度役員)
 5月10日(日) 教育後援会総会 13時30分～15時30分

主な学校行事予定

- 1月4日(日)～9日 第43回全国高専体育大会(ラグビー・フットボール:神戸市立)
 6日(火) 冬季休業終 開寮13:00
 7日(水) 開講, 第1～3学年:補講, 第4・5学年:平常授業
 8日(木) 第1～3学年:補講, 第4・5学年:平常授業, 寮生成人祝賀会
 9日(金) 第1・2学年:補講, 第3～5学年:平常授業
 14日(水) 国立高等専門学校学習到達度試験(第3学年:数学, 物理, 午後平常授業)
 15日(木) 月曜日の時間割で授業実施
 17日(土) 寮生スキー研修
 18日(日) 第42回吹奏楽部定期演奏会(羽島文化センター)入場無料
 23日(水) TOEIC試験13:00(第3学年及び希望者)午前:補講, 午後:休講
 2月4日(月)～10日(火) 後期期末試験(第5学年)
 12日(木)～17日(火) 後期期末試験(専攻科)
 16日(月) 第1～4学年:補講, 第5学年:平常授業
 17日(火) 第1～3学年:補講, 第4・5学年:平常授業
 18日(水)～20日(金) フォローアップ授業・補講・補習期間(専攻科)
 19日(木)～20日(金) 補講(第5学年)
 19日(木)～27日(金) 後期期末試験(第1～4学年)
 23日(月) 休講
 25日(水) 午前:休講, 午後:期末試験(第1～4学年)
 25日(水)～2日(月) 特別研究補講
 3月2日(月)～6日(金) フォローアップ授業・補講・補習期間(第1～4学年)
 3日(火)～18日(水) 休講(専攻科)
 7日(土) 閉寮13:00
 9日(月) 寮生部屋替
 9日(月)～18日(水) 休講
 12日(木) 入学予定者オリエンテーション
 19日(水) 第42回卒業式(第1～4学年休講), 第13回修了式(専攻科1年次休講)閉講
 20日(金) 学年末休業始
 31日(火) 学年末休業終, 後期終, 学年終

保護者見学会に参加して

就職情報の収集

3年保護者



昼食会（水明館）にて

6月13日（金曜日）、快晴、朝8時高専発のバスに乗って、オークマ株式会社可児工場見学会に夫婦二人で参加させていただきました。私は、世界でもトップクラスの工作機械メーカーの現場を見学することが出来るということで、「胸躍らせて」の参加希望でした。

若い時には、自分で機械加工経験もあり、現在の仕事も間接的に関係のある業界なだけに、本来の子供の就職情報収集と同等レベルで興味深く見学に臨みました。「百聞は一見にしかず」の言葉どおり、スケールの大きな工場建物群、PPによる会社概要説明、数億円の各種工作機械群の組み立て現場など、グローバルな企業としての「ものづくり」の気概あふれる現場見学会だったと感謝しています。もう少し時間があれば、機械専攻でなく、子供の電子制御であれば、どういう業務担当がありうるのか、等聞いてみたいことがたくさんありましたが、チョット贅沢でしょうか。

帰りには、下呂のホテル水明館での豪華なバイキングと癒しの時間もあり、家内共々、大満足の日でした。お世話をくださった関係者の皆様に厚くお礼を申し上げます。

美濃・可茂地区懇談会に参加して

最後の地区懇

美濃・可茂地区理事 山下 寿美

早いもので、今年で最後の地区懇談会となりました。子どもの様子がわからず、不安で参加した1年目。寮生が多いということで、寮務の先生が参加して下さって、親の不安な気持ちに答えていただきました。

今年の分科会でも、1・2年生の親御さんからは寮生活のことが話題にされたそうです。学年が上がるにつれて今度は進路についての親の思いを先生に伺ったり、先輩の親御さんの話をお聞きして、自分の子どもの将来を子どもと一緒に考えました。

今年も3年生以上の分科会の話題は進路についてでした。地区懇談会では先生のお話が聞けます。今、自分の子どもがどんなことを悩んでいるのか、相談もできます。最後に遠路来ていただいた先生方ありがとうございました。また、地区委員のみなさんご協力ありがとうございました。5年生の方には特に参加していただき感謝しています。今後もぜひ、後輩の親御さんのためにも、地区懇談会に参加していただきたく思います。



地区懇談会（受付）



地区懇談会（全体会）

本校の体育系クラブ今年度も活躍！ (東海地区体育大会)

東海地区体育大会成績の比較を表に示します。優勝3点、準優勝2点、3位1点で団体も、個人種目も同じ点数です。表を見ますと、成績が上昇したクラブが4、下降したクラブが5で、岐阜高専全体では、3点のプラスになり、昨年度に引き続き成果がありました。次年度は成績がさらにアップするように期待いたします。なお、次年度は全国大会が九州で開催されます。

	平成19年度	平成20年度	比較
陸上競技	39	47	8
テニス	1	2	1
バドミントン	11	15	4
ソフトテニス	11	11	0
サッカー	0	0	0
柔道	38	35	▲3
バレーボール	3	0	▲3
硬式野球	2	3	1
剣道	6	4	▲2
ハンドボール	2	0	▲2
卓球	10	9	▲1
水泳	3	3	0
バスケットボール	1	1	0
ラグビーフットボール	1	1	0
全種目	128	131	3

アイデア対決全国高専ロボコン2008

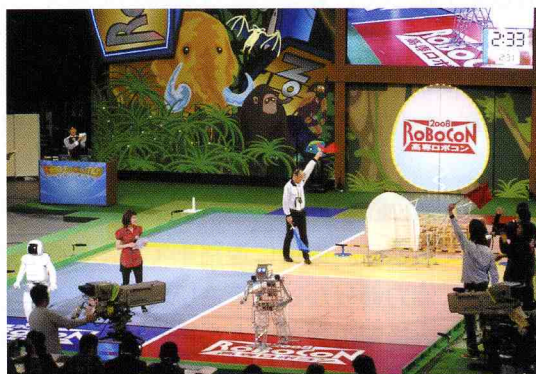
『ROBO-EVOLUTION 生命大進化』

ー技術賞と特別賞を受賞！ー

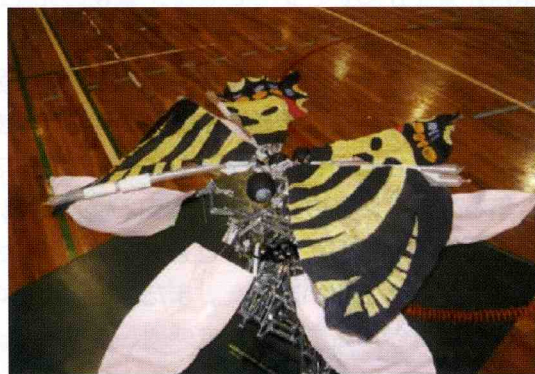
11月23日に両国国技館で「高専ロボコン2008全国大会」(第21回)が開催されました。今回の課題は、ロボットが多足歩行から2足歩行へと変身し、ゴールすることです。

岐阜高専Bチームのロボット「Zin」が全国大会出場しました。東海北陸地区大会後のロボットの改良の成果により、2回戦まで進出しました。大会では、ロボット製作の技術力を高く評価され、特別賞と技術賞の2

つの賞を授与されました。Aチームのロボット「ぎふちょ」は、三重県で10月12日に開催された東海北陸地区大会で特別賞を受賞しました。



全国大会技術賞・特別賞
Bチーム「Zin」



東海北陸地区大会特別賞
Aチーム「ぎふちょ」

●編集後記

年の瀬も迫り、夏の暑さの記憶も薄くなってきました。副会長の水谷様を始めとしまして、保護者の方々から玉稿をいただき、厚くお礼申し上げます。専攻科のインターンシップでは、貴重な体験を報告していただきました。ロボコン全国大会でダブル受賞の成果がありました。

今後ともこのような学生活動にご支援をお願いいたします。

(事務局長 橋浦正史)

発行：岐阜工業高等専門学校 教育後援会事務局 TEL・FAX (058) 323-8752
〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236-2 E-mail: gnctk@yahoo.co.jp